

第1回 西区まちづくり懇話会 議事録（要旨）

1 日 時 平成30年5月23日（水）午後7時～

2 場 所 西区役所 3階 健康センターホール

3 出席委員（13名）

永松会長、小林副会長、境委員、村上委員、中根委員、北川委員、長塩委員、豊田委員、大森委員、江藤委員、平野委員、清田委員、伊牟田委員

4 議事要旨

(1) 開 会

(2) 委嘱状 交付

(3) 西区長 挨拶

(4) 議 事（進行：永松会長）

①第4回西区フェスタについて

<総務企画課副課長> 資料P1～10に基づき説明。

<永松会長> 事務局の説明について意見や質問はないか。

<境委員> 西区フェスタ当日（17日）に、会場の一角で本妙寺桜灯籠ワークショップを行った。これまで灯籠は地元で製作していたが、駅前でのワークショップ開催により、海外の方にも参加してもらえた。「観る」から「作る」へ、「来場者」から「主催者」へというシフトはイベントの集客に一役買うと思う。他の西区のイベントにおいても、今後このような取り組みを行ってほしい。

<長塩委員> 小島校区で玉ねぎの丸ごとスープを販売した。客の意見として、駐車場を河川敷に作ってもらえないだろうかという声が多かったように思う。スープは食べて帰ってもらったが、トマトなどの野菜は、荷物になるため購入を控えて帰る客もいた。駐車場問題を改善してほしい。

<伊牟田委員> 「身体が喜ぶ美しい体づくり」に行った。教えてもらった体操の内容を、自分の地域に持ち帰って取り組んでいる。

<江藤委員> 会場には行けなかったが、電車通りを車で通った。賑わいが感じられ、外から見ても盛り上がりがあったと思う。

<北川委員> 2日間とも参加した。会場のエリア案内も分かりやすかったし、出店者に対して職員スタッフが声かけをしている様子もとても良かった。反省点に「行政主導となっていた」とあるが、行政主導で実施したことにより、KABやJR等と連携し、これだけの大規模なイベントを開催できたと思う。次回のフェスタでは委員を公募予定とのことだが、行政「主導」ではなく行政「誘導」といった形で開催すれば、良いフェスタになると思う。

＜大森委員＞ 西区フェスタで出店をしたが、駐車許可証が一店舗に一枚しかなかった。そのため二台で搬入を行おうとすると止められた。せめて2枚程度は準備してもらいたい。

＜小林副会長＞ 賑わいを感じられ、出店者も生き生きとしていたように思う。表面上は行政主導だったかもしれないが、地域の方々の顔がよく見え、出店者と来場者のコミュニケーションが生まれている様子がとても良かった。

＜永松会長＞ 様々な団体と連携して実施すると、来場者にも色んな楽しみを感じてもらうことができる。反省点として「西区フェスタが全体のイベントに埋没した」とあったが、個人的には、西区の様々な人々が参加して魅力発信が出来れば、埋もれてもよいと思う。いずれにしても、西区フェスタは非常に盛況で、飽きずに長時間入れる空間だったと思う。いくつか改善すべき点も出たようなので、それは次回につなげていただきたい。

②まちづくり懇話会ワークショップについて

＜西区総務企画課副課長＞ 資料P 1 1～1 3に基づき説明。

＜永松会長＞ 女性を対象としたワークショップということだが、女性の委員から感想や意見はないか。

＜小林副会長＞ ワークショップで何を引き出すかを明確にするべき。井戸端会議の延長線上になるので、ただ女性が集まって話をするだけでも十分面白い。しかし、参加者がテーマについて自分事として考えることが大切であり、話し合いの中で、女性の視点から見た西区の宝が明確になる必要がある。

加えて、男性参加者にはご家庭での料理について教えてもらいたい。各家庭でお正月のお雑煮がそれぞれ異なるように、普段何気なく食べている料理でも、他の家と違う部分があると思う。ご自宅の絶品料理が何なのか、写真でも持ち寄って話し合えば、立派な材料になるのでは。

＜永松会長＞ 男性委員からは何か意見は。

＜長塩委員＞ もうすぐレンコンの季節だが、我が家では一番の掘り出しレンコンをはさみ揚げにする。中身は鶏ミンチにカレーをまぶして作り、ポン酢で食べる。皿いっぱい作っても子どもが3人もいればあっという間になくなる。

＜永松会長＞ 「食」がテーマだと抽象的過ぎるので、もっとテーマを絞り込んで、議論が深く入っていくよう検討いただきたい。名前についても斬新な、ユニークな名前を考えていただければ。

＜小林副会長＞ 参加者は40～50名とあるが、地区ごとに集めるのか。

＜総務企画課主幹＞ 現時点ではまだ決めていないが、満遍なく声をかけたい。

＜小林副会長＞ 地域を満遍なく、年齢も幅広く集めていただきたい。また、ワークショップ開催後、話で挙がった食が、西区フェスタでの出店や食べ歩きツアーなど、地域間交流につながる事が大切。ただ単に「食」をテーマにして皆で話すのではなく、活用方法を考えながらの実施をお願いしたい。

- <大森委員> あちこちに食の名人がいる。
- <小林副会長> 加工品が得意な方々もいる。多様なノウハウをもつ方々が集まって話をすることが西区の豊かさのシンボルになる。人は宝なので、その人達を掘り起こす作業を「食」をテーマに行ってもらいたい。
- <平野委員> 飲食店にもスポットを当ててもらえたら。マイナーなお店でも有名店でもよい。
- <村上委員> 私くらいの年齢になるとなかなか料理はしない。ワークショップは昔のことを思い出しながら参加したいと思う。
- <中根委員> 小林副会長からもあったとおり、幅広く人材を集めてもらえれば。
- <永松会長> 具体的な内容については事務局と小林副会長のほうで詰めていただければ。

③平成30年度まちづくり推進事業スケジュールについて

- <総務企画課長> 平成30年度まちづくり推進事業スケジュールに基づき説明。
- <境委員> 「地域の宝」活用アイデアコンテストでの入賞により推進する事業については、我々の選んだ責任もあるので、今年度末か来年度当初に推進状況の報告会をやってもらいたい。
- <総務企画課長> 懇話会での現状報告は可能。
- <永松会長> 西区フェスタについて、委員の公募による実施というのはどういうイメージなのか。
- <総務企画課長> 第4回西区フェスタは懇話会委員の皆様を中心に実施したが、西区の魅力発信という点から、次回の西区フェスタでは、その他の多様な方々とも共に実施出来ればと考えている。「西区フェスタに関わってみたい」、「魅力発信をやってみたい」という方々に集まってもらえれば。
- <永松会長> 実行委員会はゼロから構成するのか。それとも懇話会委員+αで構成するのか。
- <総務企画課長> 懇話会委員の方々にも参加いただきたい。加えて、地域活動をされていて我々がまだ接触していないような方にも参加いただければ、また違う目線が加わったフェスタが出来るのではと考えている。

(5) 閉 会